

# 令和4年度第77回国民体育大会北海道ブロック予選会 兼北海道体育大会ソフトボール競技開催要項

1. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人北海道スポーツ協会
2. 主管 北海道ソフトボール協会、十勝ソフトボール協会、帯広ソフトボール協会
3. 後援 スポーツ庁、北海道、帯広市、帯広市教育委員会、  
(一財)帯広市スポーツ協会、帯広市文化スポーツ振興財団
4. 会期 令和4年7月2日(土)～7月3日(日)
5. 会場 札内川河川敷ソフトボール専用球場ABC球場
6. 参加チーム数 下記のとおりとする
  - (1)少年男子の部  
参加チーム数の制限はしない。チーム編成は次のとおりとする。
    - ア 補強、単独いずれも可。
    - イ 参加資格の年齢に合致した選手は、社会人でも可
  - (2)少年女子の部  
各地区1チームとし、チーム編成については次のとおりとする
    - ア 地区内選抜、あるいは1チームを主体とした補強チームを原則とするが、やむを得ない場合は単独チームでも可
    - イ 大会要項の年齢に合致した選手は、社会人でも可
  - (3)成年男子の部  
参加チーム数の制限はしない。チーム編成は次のとおりとする。
    - ア 補強、単独いずれも可。
    - イ 参加資格の年齢に合致した選手は、高校生でも可
    - ウ 大学生については、北海道内に住民票がある者(4月1日現在)
  - (4)成年女子の部  
参加チーム数の制限はしない。チーム編成は次のとおりとする。
    - ア 補強、単独いずれも可。
    - イ 参加資格の年齢に合致した選手は、高校生でも可
    - ウ 大学生については、北海道内に住民票がある者(4月1日現在)
7. 参加資格 参加資格は次のとおりとする
  - (1)日本国籍を有する者であること。
  - (2)少年男子・女子の選手は、平成16年4月2日以降の出生者であること。
  - (3)成年男子・女子の選手は、平成16年4月2日以前の出生者であること。
  - (4)令和4年度北海道ソフトボール協会を通じて財団法人日本ソフトボール協会に加盟登録した者であること。(未登録者は仮登録をすること)
  - (5)予選会は、選手選考会を兼ねるので北海道代表として選抜された者は、理由の如何を問わず全国大会に参加できる選手であること。
8. 出場資格 (1)本大会予選会以降のメンバー変更は認めない。  
(2)チームの編成は、次のとおりとする。ただし、監督が選手を兼ねるときは、選手登録をしなければならない。
  - ア 少年男子・女子、成年女子 監督1名、選手13名以内であること。
  - イ 成年男子 監督1名、選手12名以内であること。※本大会に参加するチーム監督は、コーチ1(指導員)、コーチ2(上級指導員)、コーチ3(コーチ)、コーチ4(上級コーチ)の有資格者でなければならない。
9. 申込方法 出場権を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明確に記入の上、各関係の証印を受け、6月15日(水)までに到着するよう、下記の(1)(2)へ申し込むこと。  
参加料及び保険料は、(2)の口座へ振り込むこと。
  - (1)〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1北海道立総合体育センター内  
北海道ソフトボール協会 宛 Tel 011-820-1675 FAX 011-820-1676  
参加申込書・プログラム掲載名簿の写しを郵送またはFAXすること。
  - (2)〒080-0862 帯広市南の森西4-4-10  
十勝ソフトボール協会 理事長 馬淵和平 宛

TEL・FAX 0155-47-3720 携帯:090-3899-0355

e-mail: waheikun@f1.octv.ne.jp

大会参加申込書(原本)を郵送、プログラム掲載用選手名簿(原本)はメール送信、大会参加料、国民体育大会参加料、国民体育大会保険料は下記口座へ振り込むこと。  
(振込手数料は負担のこと)。

銀行名 帯広信用金庫 音更支店 普通 口座番号 1182868

口座名 十勝ソフトボール協会 理事長 馬淵和平(マブチワヘイ)

10. 参加料 (1)大会参加料 1チーム 25,000円  
(2)国民体育大会参加料 1人 1,500円  
(3)国民体育大会保険料 1人 1,000円  
※(2)及び(3)は、監督を含む。監督が選手を兼ねる場合は、1名として扱うこと。
11. 競技規則 競技規則は、2022年度オフィシャルソフトボールルールによる。
12. 試合球 各チーム、試合ごとの持ち寄りとする。  
(1)少年男子・女子 ナガセケンコー ゴム検定3号球を1個  
(2)成年男子・女子 ナガセケンコー 革検定3号イエロー球を2個
13. 試合方法 トーナメント方式による。ただし、参加チーム数によって変更することがある。  
3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差が生じた場合、コールドゲームとする。  
サスペンデッドゲームを採用する。
14. 表彰 (1)優勝チームに優勝旗、表彰状を授与する。  
(2)準優勝チーム、3位チームには表彰状を授与する。  
(3)優勝旗は持ち回りとする。
15. 費用 出場選手の旅費、滞在費は全て出場チームの負担とする。
16. 抽選 試合の組み合わせは、6月17日(金)北海道協会において、主催者立会いのもと代理抽選によって決定する。
17. 監督会議 令和4年7月2日(土)9:00から A球場
18. 審判記録会議 令和4年7月2日(土)9:15から A球場
19. 開会式 令和4年7月2日(土)9:45から A球場
20. 傷害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急の処置のみとし、参加者全員、健康保険証を持参すること。
21. その他 (1)出場チームは必ず監督(責任者)によって引率され、当該チームを掌握すること。  
(2)北海道大会で棄権及び不正選手出場チームの取扱については以下の通りとする。  
当該年度および次年度の公式試合出場停止。  
なお、事故等による危険の場合は、上記規定は適用しない。  
この決定については、道ソ派遣理事および大会競技委員長で行う。  
(3)新型コロナウイルス感染症(COVID-19)におけるソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドラインを遵守すること。  
(4)出場チームは別紙「連絡先および健康状態申告書」を全員分記入し、会場の受付へ提出すること。2日目に勝ち上がったチームは2日目の分も来場の際に提出すること。  
(5)雷鳴が聞こえたら、ただちに試合を中断する。  
(6)宿泊及び昼食の斡旋はしないが、各チームは宿泊先及びその所在地、電話番号を大会事務局へ連絡すること。  
(7)ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。  
(9)大会会場は全面禁煙となっていますので、保護者・応援の方々の徹底をお願いします。  
また、練習場所や駐車場については会場の指示に従ってください。  
(10)参加申込書及びプログラム掲載名簿の様式(Excel)については、下記へご連絡ください。
- 【本大会の問い合わせ先】十勝ソフトボール協会 理事長 馬淵 和平(まぶち わへい)  
(携) 090-3899-0355 E-mail:waheikun@f1.octv.ne.jp

この事業は、競輪の補助を受けて実施しています。

競輪の補助事業



日本ソフトボール協会及び北海道ソフトボール協会から出されたガイドラインに準じて実行する。

【主な内容】

- (1) 三つの密（密閉、密集、密接）の発生が原則想定されないこと（人と人との間隔はできるだけ2 mを目安に）
- (2) 大声での発声、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと
- (3) その他、必要に応じて、適切な感染防止対策（入場者の制限や誘導、手指の消毒設備の設置、マスクの着用、室内の換気等）が講じられること  
※これまで集団感染が確認された場では、共通する3つの条件（①換気の悪い密閉空間、②人が密集している、③近距離での会話や発声が行われる）が確認されています。  
また、これ以外の場であっても、人混みや近距離での会話、特に大きな声を出すことや歌うことにはリスクが存在すると考えられています。激しい呼気や大きな声を伴う運動についても感染リスクがある可能性が指摘されています。
- (4) 事業を開催する自治体の方針に従うことを前提とする
- (5) 参加者全員へ本ガイドラインの周知徹底を図ること
- (6) 事業関係者から感染者が出た場合の競技団体の責務の重大性を考え、チーム関係者、役員・スタッフ一同および事業参加者で感染拡大防止のためのガイドラインを遵守することを徹底する
- (7) 会場への関係者の移動は、極力、公共交通機関を利用しないこと
- (8) 大会を開催する場合は、監督会議、開会式、閉会式、懇親会およびファンサービスなど人が密集するイベントは実施しない
- (9) 各種会議など室内で実施する場合は、こまめな換気をし、会場への入退室時の消毒を徹底する  
※事務連絡などがある場合には、事前に参加チーム連絡責任者にメール等で周知する
- (10) 参加者（選手およびチーム関係者、その他各種事業の参加者）に疑い例が出た場合
  - ① 大会や各種事業の開催期間中に、検温で 37.5 度以上の発熱があった場合は必ず主催者に報告する
  - ② 37.5 度以上の発熱が 2 日間以上持続した場合は、発熱のあるものを大会または各種事業から隔離する
    - a) 所属先および医療機関への連絡
    - b) 濃厚接触者の抽出
    - c) PCR検査および医療機関受診対象者の確認
  - ③ 陽性反応が出た場合の対応
    - a) 感染者本人は入院もしくは自宅療養（医療機関の指示に従う）
    - b) 濃厚接触者も自宅待機（医療機関の指示に従う）
    - c) 以降の大会開催方法について即刻、協議を行う
- (11) 参加者に対して、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策のため情報提供（別紙「連絡先および健康状態申告のお願い」）をお願いする。記入した申告書については、公式試合および各種事業の参加時に持参し、主催者に提出すること。なお、提出された個人情報の取り扱いには十分配慮する。

## 国体選手選考基準

### 1. 選手選考対象者

国体選手選考の対象者は原則「北海道ブロック予選会」に参加したものととする。

なお、「ふるさと選手制度」を活用する選手はその限りでない。

### 2. 選考手続

(1) 強化委員会が本選考基準に従って代表選手の選考を実施し、常任理事会に上程する。

(2) 常任理事会にて、本選考基準に則して選考されているか審議し、確定する。

### 3. 選考方針

当協会強化計画を優先して活動でき、編成するチームの中で能力を発揮できる可能性を総合的に判断し選手を選考する。

### 4. 選考基準

(1) 北海道ブロック予選会の結果を参考とする。

(2) ポジションのバランスを考慮する。

(3) 日本女子ソフトボールリーグ及びJDリーグでの結果を参考とする。

### 5. その他

(1) 代表選手を辞退または解除された選手がいた場合、必要に応じて本選考基準に則り、代表選手を追加する。

(2) 正当な理由なく当協会の強化方針及び指示に従わない場合は指定を解除する。

<北海道ソフトボール協会>